

会 議 録

会 議 の 名 称	平成20年度第1回文化財保護審議会
開 催 日 時	平成20年5月23日(金) 開会：10時00分・閉会11時30分
開 催 場 所	行田市産業文化会館 2A会議室
出席者(委員) 氏 名	文化財保護審議委員 香川宏行・向井隆健・小山千秋・金子 昌司・木島隆夫・宮本伸子・原口知宣・横山晋一
欠席者(委員) 氏 名	永野修之・大友努
事 務 局	行田市教育委員会生涯学習部長 大山能則 文化財保護課長 堀口真弘 文化財保護課主査 中島洋一 文化財保護課主事 田島裕介 文化財保護課主事 浅見貴子
会 議 内 容	別紙会議録のとおり
会 議 資 料	(資料・概要等)
そ の 他 必 要 事 項	

発 言 者	会 議 の 経 過 (議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 結 論 等)
事務局	<p>*市民憲章唱和</p> <p>1 . 開 会</p> <p>2 . あいさつ (大山生涯学習部長)</p> <p>3 . 委嘱状交付 委員及び事務局自己紹介 文化財保護条例及び施行規則の確認</p> <p>4 . 委員長及び副委員長の選出 立候補及び意見を求めたい。</p>
委員	事務局案としては何かあるか。
事務局	<p>委員長については前年度に引き続いて香川氏、副委員長に金子氏でどうだろうか。</p> <p>全員一致により承認 委員長及び副委員長の挨拶</p>
事務局	<p>事務局から、当審議会を原則公開とし、文化財の指定等個人情報に関わる審議がある際は非公開とする旨を確認。</p> <p>5 . 議 事</p> <p>(1) 平成 1 9 年度の文化財保護行政について 平成 1 9 年度の文化財保護行政について</p> <p>1 文化財の調査</p> <p>(1) 市内歴史的建築物の補足・調査測量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長久寺山門・鐘楼、弁天門樋について、ものづくり大学に調査を依頼し、近日中に指定のための手続きに入りたい。 ・小宮邸について、所有者から寄贈及び移築・保存の話があったが、費用の見積もりを取ったところ、4500万円以上かかるとのことで、予算的にも無理であるため寄

	<p>贈の受け入れのための手続きは見送ることにした。</p> <p>(2) 市内の獅子舞の調査 次回、指定のための審議にかけたい。</p> <p>2 指定文化財の保護管理</p> <p>(1) 史跡等の管理・公開(国・埼玉県指定文化財等)</p> <p>(2) 史跡・天然記念物等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地蔵塚古墳の木については、台風によって枝が折れた。 ・小崎沼の駐車場の整備については、駐車場の範囲をわかりやすく引き直した。 <p>(3) 古代蓮自生地の管理・養生(公開は中止)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「古代蓮の里」から株を分けてもらい、移植を試みた。一時的に開花に至ったが、再び状態が悪化した。 <p>(4) 文化財の指定・登録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国登録有形文化財に関しては、大澤家蔵について登録の内々示が出ている。 <p>3 伝統芸能の後継者育成</p> <p>(1) ささら獅子舞5団体へ助成(公開、練習、器材購入費の助成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野ささら獅子舞については、しばらく休止していたが2月に復活した。ただし、廃止の方向で動いているとの話を前代表者から受けていたため予算に含まれていないが、新年度の助成について検討中である。 <p>(2) 子供おはやしの4団体へ助成(新規活動開始、器材購入等の助成)</p> <p>4 埋蔵文化財の発掘調査</p> <p>(1) 埋蔵文化財の開発に対する調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調整の件数については前年度に比べて減っている。 <p>(2) 埋蔵文化財の発掘調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査件数は前年度より増加している。 <p>(3) 埋蔵文化財の出土品整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木製品の保存処理については、池守遺跡(8次)出土の木製品の緊急性が高かったため優先して処理に出した。
--	---

	<p>5 文化財保護の普及・啓蒙</p> <p>6 文化財の総合的な活用</p>
委員	<p><質問・意見> 登録有形文化財に挙がっていた大澤家蔵について、場所はどこにあるのか。どういった建物なのか。</p>
事務局	<p>新町通りにあるレンガ造りの蔵である。</p>
委員	<p>長野ささら獅子舞保存会、若小玉獅子舞保存会の記録DVD作成についてだが、このDVDの公開はどうなるのか。</p>
事務局	<p>作成本数が20本程度に制限されているので、団体分の他は公民館、図書館等に配布することになる。</p>
	<p>(2)平成20年度の文化財保護行政について 平成20年度の文化財保護行政について</p> <p>1 文化財の調査</p> <p>(1)歴史的建築物の調査</p> <p>(2)屋敷稻荷の基礎調査</p> <p>(3)市内歴史的建築物所在補足調査</p> <p>2 指定文化財の保護管理</p> <p>(1)史跡等の管理・公開(国・埼玉県指定文化財)</p> <p>(2)史跡・天然記念物等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八幡山古墳の説明板について、老朽化による建て替えになる。本来は県指定史跡なので県の管轄だが、補助金を得て市が建て替えを行う。看板については、中学生にもわかる程度にわかりやすくしてほしいとの要望があるので検討していきたい。 ・石田堤の松1本の伐採については、堤の植樹の中で唯一の江戸時代から残る松であるため、切り株の形でも残せないか検討したい。 <p>(3)古代蓮自生地の管理・養生(公開は中止)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範囲を限定しての集中的な管理・保護による段階的な復

<p>委員</p>	<p>活を図るべきではないかとの意見を「古代蓮の里」からも言われている。葦が茂らないようにコンクリートで周囲を固める等のアドバイスを受けたが、自生地に相応しい対応が必要。</p> <p>(4)文化財の指定・登録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野ささら獅子舞については秋の例祭等の活動状況の様子を見たい。 <p>3 伝統芸能の後継者育成</p> <p>(1) ささら獅子舞6団体へ助成(公開、練習、器材購入費の助成)</p> <p>(2) 子供おはやしの3団体へ助成(新規活動開始、器材購入等の助成)</p> <p>4 埋蔵文化財の発掘調査</p> <p>(1) 埋蔵文化財の開発に対する調整</p> <p>(2) 埋蔵文化財の発掘調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共工事については素案の段階で7~8件が遺跡に該当 <p>(3) 埋蔵文化財の出土品整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行田市史料館の改修については、施設を集会所として利用している団体との交渉を行っていく。 <p>5 文化財の普及・啓蒙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月の郷土博物館ロビーでの展示については、他市の国庫補助事業の会計検査において、一般への公開の必要性を指摘されたことを受けての企画である。 <p>6 文化財の総合的な活用</p> <p>(1) ぎょうだ歴史ロマンの道整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉古墳群から郷土博物館に至るコース設定について、文化ゾーンを通るか、旧道を通るかを検討中である。 <p>(2) 足袋蔵歴史のまち整備事業</p> <p><質問・意見></p> <p>ぎょうだ歴史ロマンの道整備事業等で用いられる看板について、デザインを他の案内看板等と統一してほしい。同じ市内で表示・デザインがバラバラでは美観を損ね、見学者にも不便である。</p>
-----------	---

事務局	八幡山古墳の案内看板等は、さきたま史跡の博物館が整備事業で用いている看板と統一する予定である。ぎょうだ歴史ロマンの道整備事業で用いる看板については、前述のデザインでは大きめで街中に提示するのに不便であるため、NPO 法人「足袋蔵ネットワーク」で足袋蔵の案内に使用している看板と統一を図る予定である。
委員	足袋蔵歴史のまち整備事業の方でも、コース案内看板に番号を振る等、意見が出ている。総合的に横の連携を図って整備してほしい。
委員	八幡山古墳の看板について、英文対応はするのか。世界遺産推進運動を展開している市として、対応が必要と考える。また、「中学生でもわかる」というのはどの程度の内容になるのか。
事務局	さきたま史跡の博物館が整備事業で用いている看板は英字・点字対応なので、それに準じるはずである。また内容については、難しい表現を避けるつもりであるが、詳細な情報がほしいとのニーズもあり、検討していきたい。
委員	平成19年度の埋蔵文化財の発掘調査について、大量の調査件数に対して担当者1名というかなり厳しい状況があった。今年度も調査量は同程度と考えられるが、どのような体制で臨むのか。
事務局	今年度は、昨年育児休業を取っていた職員が復職したので担当者は2名になるが、調査件数に比べて調査員が不足している現状に変わりはない。他市の状況を見ても、例えば川越市では調査件数20件に対して調査員5名で当たっている。嘱託も含め、職員の増員を市に求めるとともに、県教育委員会に対し、民間委託の導入を働きかけていきたい。
委員	野ささら獅子舞団体への助成について、団体の復活が急だったので予算措置が間に合わなかったとのことだったが、他団体との間に不公平感の出ないように対応してほしい。
事務局	現在、補正予算を組むか検討中であるが、活動自体は順調に行っている様子なので、できれば助成したい。

委員	<p>古代蓮の管理について、肥料は良くない。生物なので絶えてしまえば取り返しがつかない。生育環境を考える上で生物学だけでなく、歴史的見地からの意見も必要と考える。専門家による指導が必要ではないか。</p>
事務局	<p>古代蓮の状態が悪化したのは平成 17 年頃からである。その際、蓮とともに周囲の雑草も枯れたが、現在は雑草は勢いを盛り返し、肝心の蓮が衰弱したままである。品種を維持するために肥料はやっていないが、見直す必要があるかと思われる。種としての古代蓮は、「古代蓮の里」の整備された環境下で順調に生育しており、自生地で生育できなくても絶滅はしない。しかし、自生地での生育を守るため、今後も注意して保護していきたい。</p>
事務局	<p>6 . その他 (1) 埼玉(さきたま)古墳群シンポジウムについて 世界遺産登録運動について最近の動向の報告 < 質問・意見 ></p>
委員	<p>ヒアリングがあったと聞いたがどうか。</p>
事務局	<p>ヒアリングはあったが、内容についてはまだ公表できない。</p>
委員	<p>他地域の話聞いてもハードルは高くなってきているようだが、埼玉古墳群は最近テレビ番組でも取り上げられており、注目度はある。ただ、危惧している点として、最近忍城の門が復元されるそうだが、その門が史実に基づかない設計であると聞いた。文化遺産を多数保持し、世界遺産を目指す市として、やるべきことではないと思う。</p>
事務局	<p>計画の初期段階では郷土博物館ともども意見を出しているが、案の段階では門の向き等、確かに史実とズレも出ている。工事の都合もあると思うので確認していきたい。</p> <p>7 . 閉会</p>